

Add-on Program 「多言語・多文化社会」 2008 年度 1 学期 講義スケジュール

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、多言語・多文化化する日本社会のいまを学ぶ教育プログラム『Add-on Program 「多言語・多文化社会」』を開講しています。第一線の実践者・研究者を講師にお招きした刺激溢れる授業です。すべての講義は総合科目 として開講され、1 科目からでも受講できます。ふるってご参加ください。

履修方法の詳細は、「履修案内」および科目概要（シラバス）をご覧ください。
各講義のテーマ・講師は変更される場合があります。詳細はウェブサイトをご覧ください。
http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/2007/02/addon_program_2.html
履修希望者多数の場合には、初回講義にて抽選を行う場合があります。

1. 多言語・多文化社会論入門

*外国人労働者をめぐる具体的な事例について、現場のゲスト講師を招いて考えます。

責任者：青山 亨 火曜日 4 限 113 教室

| 日付 | テーマ | 講師 |
|-------|---------------------------------|--|
| 4月15日 | ガイダンス | 青山 亨（東京外国語大学教授） |
| 4月22日 | 異文化体験シミュレーション：カード・ゲームを楽しもう | 杉澤経子（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センタープログラムコーディネータ） |
| 5月13日 | 留学生との交流活動1 | 岡田昭人（東京外国語大学准教授） |
| 5月20日 | 留学生との交流活動2 | 岡田昭人 |
| 5月27日 | 多文化社会概論1）：グローバル化と移民・外国人 | 塩原良和（東京外国語大学准教授） |
| 6月3日 | 多文化社会概論2）：国際労働力移動と国民国家の多言語・多文化化 | 小井土彰宏（一橋大学） |
| 6月10日 | 多文化社会概論3）：日本社会における多文化共生への課題 | 奥島美夏（神田外語大学専任講師） |
| 6月17日 | 多文化社会に生きる1）：在日コリアン | 金迅野（川崎市ふれあい館） |
| 6月24日 | 多文化社会に生きる2）：「ニューカマー」 | 大工廻 実（厚木市外国籍市民懇話会） |
| 7月1日 | 多文化社会に生きる3）：外国人を支援する人々 | 杉澤経子 |
| 7月8日 | 学生によるグループ・プレゼンテーション | 青山 亨 |
| 7月15日 | 学生によるグループ・プレゼンテーション | 青山 亨 |
| 7月22日 | 多文化社会概論4）：多文化社会と多文化主義 | 塩原良和 |

2. 多言語・多文化社会論（言語技能入門）

*教育・司法・医療などの現場における実践的通訳の基礎を学びます。

責任者：川口健一 月曜日 2 限 115 教室

| 日付 | テーマ | 講師 |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|
| 4月14日 | ガイダンス | 川口健一（東京外国語大学教授） |
| 4月21日 | コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー | 前田節子（心理カウンセラー・東京外大非常勤講師） |
| 4月28日 | 司法現場での通訳実践 | 川口健一 |
| 5月12日 | 教育現場での通訳実践 | 王龍藝群（兵庫県多文化共生サポーター） |
| 5月19日 | 外国籍児童生徒の求める通訳支援 | 早川秀樹（多文化まちづくり工房代表）ほか |
| 5月26日 | 外国人住民から見た法律制度 | 大木和弘（弁護士） |
| 6月2日 | 外国籍児童生徒支援者から見た教育制度 | 田中阿貴（多文化共生センター東京） |
| 6月9日 | 外国人にとっての医療制度 | 松野勝民（MIC かながわ副理事長・済生会神奈川病院ソーシャルワーカー） |
| 6月16日 | 医療現場での通訳実践（1） | 前田節子（心理カウンセラー） |
| 6月23日 | 医療現場での通訳実践（2） | 田中ネリ（臨床心理士） |
| 6月30日 | コミュニティ通訳者としての文化の翻訳（1） | 藤谷純子（武蔵野市国際交流協会コーディネーター） |
| 7月7日 | コミュニティ通訳者としての文化の翻訳（2） | 鶴田光子（MIC かながわ理事長） |
| 7月14日 | まとめ | 川口健一 |

3. 多言語・多文化社会論（歴史と現在）

* 多言語・多文化社会の歴史的背景を、日本と世界を比較する視点から学びます。

責任者：野本京子 木曜日1限 114教室

| 日付 | テーマ | 講師 |
|-------|----------------------------|-------------------|
| 4月17日 | ガイダンス（授業の狙いと方法 対象地域） | 野本京子（東京外国語大学教授） |
| 4月24日 | 日本における多言語・多文化社会の歴史と現在（1） | 米谷匡史（東京外国語大学准教授） |
| 5月1日 | 日本における多言語・多文化社会の歴史と現在（2） | 河路由佳（東京外国語大学教授） |
| 5月8日 | 中国における多言語・多文化社会の歴史と現在 | 澤田ゆかり（東京外国語大学教授） |
| 5月15日 | インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 青山 亨（東京外国語大学教授） |
| 5月22日 | マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 左右田直規（東京外国語大学准教授） |
| 5月29日 | 小括 | 野本京子 |
| 6月5日 | イギリスにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 佐久間孝正（立教大学教授） |
| 6月12日 | フランスにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 工藤光一（東京外国語大学准教授） |
| 6月19日 | ロシア・東欧における多言語・多文化社会の歴史と現在 | 篠原 琢（東京外国語大学教授） |
| 6月26日 | アメリカ合衆国における多言語・多文化社会の歴史と現在 | 佐々木孝弘（東京外国語大学教授） |
| 7月3日 | カナダにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 大岡栄美（明治学院大学非常勤講師） |
| 7月10日 | ブラジルにおける多言語・多文化社会の歴史と現在 | 鈴木 茂（東京外国語大学教授） |
| 7月17日 | 講義のまとめ | 野本京子 |

4. 多言語・多文化社会論（社会・文化）

* 多言語・多文化化する日本社会・文化を多角的な視点で学びます。

責任者：塩原良和 金曜日2限 113教室

| 日付 | テーマ | 講師 |
|-------|--|--------------------------|
| 4月18日 | ガイダンス（授業の狙いと方法） | 塩原良和（東京外国語大学准教授） |
| 4月25日 | 多言語・多文化化する社会(1)外国人労働者と日本の労働市場 | 鈴木江理子（立教大学兼任講師） |
| 5月2日 | マイノリティとマジョリティのはざままで(1)日本人/外国人としての自分 | 小菅真人（横浜市立大学学生） |
| 5月9日 | 多言語・多文化化する社会(2)地方・農村における外国人住民 | 藤田美佳（神奈川大学・法政大学非常勤講師） |
| 5月16日 | 多言語・多文化化する社会(3)多言語・多文化化する家庭 | 竹下修子（中京女子大学教授） |
| 5月23日 | 多言語・多文化化する社会(4)ジェンダーと多文化社会 | 藤岡美恵子（IMADR / 法政大学非常勤講師） |
| 5月30日 | 中間まとめ（ワークショップ） | 塩原良和 |
| 6月6日 | マジョリティを相対化する(1)多文化主義 | 塩原良和 |
| 6月13日 | マジョリティを相対化する(2) 沖縄・小笠原諸島と日本 | 石原 俊（千葉大学助教） |
| 6月20日 | マジョリティを相対化する(3) 日本社会の見えない「多文化」 | 倉石一郎（東京外国語大学准教授） |
| 6月27日 | 多言語・多文化化する社会(5)都市と多言語・多文化社会 | 五十嵐泰正（筑波大学講師） |
| 7月4日 | マイノリティとマジョリティのはざままで(2)在日コリアンの文化とアイデンティティ | 朴一（大阪市立大学教授） |
| 7月11日 | 講義のまとめ（ワークショップ） | 塩原良和 |

5. 多言語・多文化社会論（実習1）

* Add-on Program で学んだことを社会の現場で活かし、ボランティア活動を行います（3年生以上の Add-on 既習者で履修条件に合致した人のみ履修可）。 責任者：塩原良和 火曜日1限 103教室

<お問い合わせ先>

東京外国語大学 多文化・多言語教育研究センター

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学 研究講義棟 319号室

TEL: 042-330-5441 FAX:042-330-5448

Email: tc@tufs.ac.jp URL: <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>